

令和元年10月8日

愛知県知事
大村秀章様

愛知県廃棄物処理施設審査会議
座長 青木 清

加山興業株式会社の産業廃棄物処理施設設置許可申請書及び産業
廃棄物処理施設変更許可申請書並びに生活環境影響調査書につい
て（報告）

令和元年5月8日付け31循環第199号の依頼については、別紙のとおり
です。

加山興業株式会社の産業廃棄物処理施設設置許可申請書及び産業廃棄物処理施設変更許可申請書並びに生活環境影響調査書に対する意見

加山興業株式会社の産業廃棄物処理施設設置許可申請書及び産業廃棄物処理施設変更許可申請書並びに生活環境影響調査書について、生活環境の保全上の見地等から慎重に検討を行った。

その結果、当該産業廃棄物処理施設については、設置に関する計画及び維持管理に関する計画が、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定める技術上の基準に適合しており、同法に定める周辺地域の生活環境の保全及び周辺の施設について適正な配慮がなされたものであると認められる。

なお、事業者は、申請書に記載された事項を遵守する上で、下記の事項に十分配慮して事業を実施することが必要である。

記

- 1 3種5基の焼却炉から構成される複雑な施設であるため、焼却炉の温度や排ガスの濃度を常時監視し、施設の運転管理に万全を期すこと。
- 2 窒素酸化物の発生を抑制する機構がないことから、処理する廃棄物の性状を確認し、大気中へ放出される窒素酸化物濃度を 250ppm 以下とすること。
- 3 停電等によって施設が全て停止した際に、廃棄物に起因する未燃ガスやタール分、悪臭物質が建屋内及び敷地外に放出される可能性があるため、安全マニュアルを作成し、作業員へ周知させるなどの対策を講じること。
- 4 施設稼働時における塩化水素の予測最大値 (0.0190ppm) が目標環境濃度 (0.02ppm) に近接しているため、接地逆転層の崩壊が起きやすい冬季の明け方等においては、塩素含有量の多い廃棄物の処理を可能な限り控えること。
- 5 廃棄物に含有される有害物質による土壌汚染を防止するため、場内のコンクリート舗装に亀裂等が生じていないか定期的に確認すること。また、廃棄物を台車等で運搬する際の転倒防止対策を講じること。緑地部分等の未舗装の場所に有害物質を含有する廃棄物を持ち込まないこと。
- 6 雨水等との接触による廃棄物からの汚水等を発生させないため、屋内で保管を行うこと。また、搬入作業時等においても速やかにかつ安全に保管施設に搬入する等の措置を行い屋外で廃棄物が晒される時間を短縮するよう努めること。
- 7 廃棄物搬入車両の通行が事業場及びその周辺で滞ることがないように努めること。

検 討 の 経 緯

年 月 日	概 要
平成 31 年 1 月 29 日	○廃棄物処理法に基づく廃棄物処理施設設置許可申請及び廃棄物処理施設変更許可申請
平成 31 年 2 月 12 日	○告示 ・愛知県公報に掲載 ○豊川市長（関係市町村長）への意見照会
平成 31 年 2 月 12 日 ～ 3 月 13 日	○縦覧 ・愛知県資源循環推進課、東三河総局、豊川市役所で縦覧
平成 31 年 2 月 12 日 ～ 3 月 27 日	○利害関係者の意見書提出
平成 31 年 3 月 27 日	○豊川市長（関係市町村長）からの意見回答
令和元年 5 月 8 日	○審査会議への審査依頼 ○審査会議における審査（第 1 回） ・計画内容の説明及び検討
令和元年 5 月 22 日	○審査会議による現地視察 ・加山興業株式会社の廃棄物処理施設設置予定場所の視察
令和元年 7 月 8 日	○審査会議における審査（第 2 回） ・疑義事項（安定燃焼、窒素酸化物対策、非常時の対策、排ガスの処理、フュミゲーション時の予測、土壌汚染の確認、搬入及び処理の動線、乾溜ガス化炉の分散板の構造、配管のタール対策、燃焼炉の温度制御方法、処理実績等）に対する事業者の見解の検討
令和元年 8 月 20 日	○審査会議における審査（第 3 回） ・疑義事項（窒素酸化物対策及び非常時の対策）に対する事業者の見解の検討
令和元年 10 月 8 日	○審査会議における審査（第 4 回） ・疑義事項（使用水量等）に対する事業者の見解の検討 ・技術基準及び維持管理基準の適合状況の検討、審査会議報告の取りまとめ、知事への報告

愛知県廃棄物処理施設審査会議構成員等

座長	青木 清	南山大学法学部教授
構成員	岡田 恭明	名城大学理工学部教授
構成員	片山 新太	名古屋大学未来材料・システム研究所教授
構成員	田代 むつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
構成員	二宮 善彦	中部大学工学部教授
構成員	松本 嘉孝	豊田工業高等専門学校環境都市工学科准教授
構成員	森 泉 純	名古屋大学大学院工学研究科准教授
構成員	義家 亮	名古屋大学大学院工学研究科准教授
構成員	吉田 奈央子	名古屋工業大学大学院工学研究科准教授
専門委員	水野 朝夫	公益社団法人日本技術士会中部本部副本部長